浜松医科大学医学部附属病院 広報誌

はんだ山の風

2014 SPRING
第15号
平成26年4月発行

県下初! 臨床検査室 国際規格「ISO 15189」認定取得!!

Contents

P.2 病院長就任にあたり　外科学第2講座　今野 弘之
P.2 副病院長の紹介
P.3 新任医師の紹介　眼科　助教　野嶋 計寿
P.3 平成26年4月1日から大学・病院敷地内全面禁煙となっています　浜松医科大学長／医学部附属病院長
P.4 シリーズ最先端医療「C型肝炎は治る時代に!」　肝臓内科診療科長　小林 良正
P.5 病気 ここが知りたい「脳梗塞急性期治療」　脳神経外科学　助教　平松 久弥
P.6 フェーズ1 災害拠点病院とDMATの役割　救急災害医学講座　助教　高橋 善明
P.7 世界水準のお墨付き! 静岡県で初めて臨床検査室の品質認定取得!!　検査部　臨床検査技師長　濵田 悦子
P.8 静岡県原子力防災訓練を実施　救急災害医学講座：教授　吉野 篤人／医事課
P.8 平成26年4月1日から外来診療費をクレジットカードでお支払いいただけるようになりました　医事課
P.8 消費税引き上げに伴う本院の対応　医事課

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

浜松医科大学医学部附属病院
常勤・パート看護師募集
お問い合わせ
●人事課任用係　TEL.053(435)2117
●看護部事務室　TEL.053(435)2627

病院長就任にあたり

外科学第2講座　今野 弘之

4月から附属病院長を拝命しました。これまで副院長として4年間、医療安全を担当しましたが、格段に重さを増した職責を徐々に感じているところです。任期が限られていますので、基本的にはこれまで行われてきた方針に沿った継続性のある運営を行っていくつもりでおり、病院企画室メンバーも多くの先生方にそのまま就任していただくことにしました。一方、副院長として新たに3名の教授にご就任いただきました。運営・管理担当に金山教授、教育・研修担当に須田教授、リスクマネジメント担当に松山教授、そして桑原看護部長を加えた4人の副院長と共に、これから2年間多くの病院運営に取り組んでいくつもりでおります。

私は、本学にこれまで長期間奉職させていただいた関係上、多くの方々と面識があります。当院は極めて優秀で熱心なスタッフによって支えられており、他大学と比較して遜色ない実績を挙げています。大学病院の使命は、本院の「病院の基本方針」に掲げられている通りです。私たちはこの方針に沿って成果を挙げていくことが求められています。安心・安全な医療は当然のことであり、医療安全文化の涵養を継続して追及していかなければいけません。また、大学附属病院として高度な医療を実践することが求められており、最新の診療機器の整備と活動力のある人材の確保が必要です。そのためには健全な病院運営が前提であり、高い稼働率と高度な医療による収益増が見込まれる必要があります。加えて、医療機器・薬剤等の支出削減にも努力しなければなりません。これまでのデータを多方面から解析し拙速に陥ることなく、徐々に進めていきたいものと思っています。そして良質な医療人を育成するためには、多くの卒業生に本学に残ってもらうように対策を講ずる必要があります。多くの若手医師が大学に在籍することによって、初めて社会・地域医療への貢献が成就できるものと考えています。

いずれにしましても、最も大切なことは「まとまり力」だと思っています。皆、目標を共有し同じ方向を向くことで、現在の実績より質、量ともに一段高い病院運営が可能となるものと確信しています。時間は限られていますが、いろいろな機会に皆様のご意見を拝聴し、着実に進めて参りたいと考えております。皆様のご協力・ご支援を心からお願いします。

副病院長の紹介

教育･研修担当
須田 隆文 教授

運営･管理担当
金山 尚裕 教授

リスクマネジメント担当
松山 幸弘 教授

患者サービス担当
桑原 弓枝 看護部長

新任医師の紹介

眼科　助教　野嶋 計寿

平成26年1月1日付で眼科学講座の助教を拝命いたしました、野嶋計寿(かずとし)と申します。平成19年に島根大学を卒業し、初期研修よりこちらでお世話になっております。研修後は本学眼科学教室に入局し、当院および磐田市立総合病院で眼科医としてのスキルの向上に努めて参りました。当科の先生方にはもちろんですが、他科の先生方にも全身管理など多大なるお力添えを頂いており、この場をお借りしまして心より感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

二十余年前、いわゆる近眼となり眼鏡生活が始まりました。見えることが当たり前ではないことを知り、見えないことにこの上ない恐怖を覚えたことが眼科医を目指した原点です。幸いにして眼科医にはなれましたが、現在はその奥深さに悶絶しながら、日々の臨床に携わっております。

皆様ご存じの通り、眼科は非常に特殊で専門性の高い科です。わずか直径24mm程度のこの２つの球体は、身体の体積から考えるとあまりに小さな器官ではありますが、外界からの情報の取得には極めて重要で、複数の脳神経に支配され、そのどれが欠落しても十分な機能は得られません。白内障は平均寿命の伸びとともにほぼ不可避な病気となっていますし、またわずか１本の睫毛の迷入でも異様な異物感に襲われ、この時期は花粉症で眼がしょぼしょぼ、そんな些細な症状だけでも日常生活に大きな支障を来します。

私は、かつての私自身が経験したように、見えることが当たり前でなくなってしまった方々の手助けに微力ながら貢献したいと考えております。そのためにさらに専門性の高い知識や難易度の高い手術スキルの習得を目指してまいります。

と同時に、いつの間にか子が生まれ、気付けば三十路をすすんでおります。父・社会人としても恥じない人間となるべく精進を重ねて参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に私が目標とする格言を、、、

「あなたが生まれたとき、あなたは泣いていて周りの人は笑っていたでしょう。だからいつかあなたが死ぬときは、あなたは笑って周りの人が泣いている。そんな人生をおくりなさい。」

私もいつかは天寿を全うするわけですが、最期の瞬間を大切な人々に見守られ、その光景を自分の眼で見て、脳裏に焼きつけることができたらば、この上なく幸せなことと思うのです。

平成26年4月1日から**大学・病院敷地内全面禁煙**となっています

敷地内禁煙とは、**建物内のみならず、玄関、駐車場、道路を含め、大学・病院敷地内及び近隣の道路等**を示します。

タバコが喫煙者及びその受動喫煙者の健康を害し、肺がん等を誘発することが知られています。

学校・病院・官公庁施設では健康増進法第２５条で受動喫煙の防止対策を講じるよう義務付けられています。

本学においても「屋外喫煙所」を設けて分煙化を図ってきましたが、患者さんをはじめ皆さんの健康をサポートするという医科大学及び附属病院の社会的使命から、大学・病院敷地内を全面禁煙とすることとしました。

この措置は、大学・病院の常勤及び非常勤職員、学生のみならず患者さん及びその家族、お見舞いの方、委託・派遣の職員、工事業者、出入り業者の方など全ての方が対象となります。

より良い環境づくりのため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

各　　位　　平成26年4月1日　浜松医科大学長
医学部附属病院長

シリーズ 最先端医療 Vol.15

C型肝炎は治る時代に!

肝臓内科診療科長　小林 良正

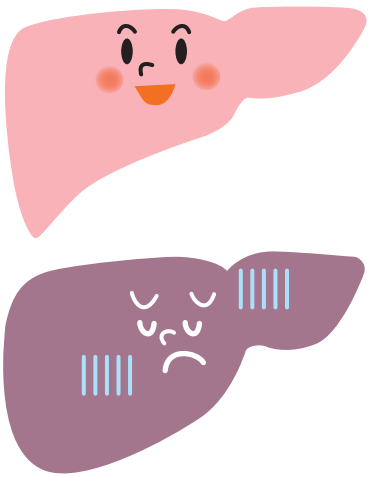
Ｃ型肝炎は、肝炎ウィルスの感染により肝臓に炎症を引き起こす病気です。肝がんになる可能性が高いため、ウイルスを排除する治療（抗ウイルス療法）を行います。抗ウイルス療法は、1992年のインターフェロン単独療法から始まりましたが、当時はＣ型慢性肝炎患者さんのごく一部に治療効果を認めるのみでした。その後、飲み薬の抗ウイルス薬であるリバビリンが登場し、インターフェロンとの2剤併用療法が主流となり、治りにくいタイプ（ウィルスの遺伝子型が１型でウィルス量が多い例）のＣ型慢性肝炎でもウイルスの排除率が40～50％まで改善しましたが、引き続き新しい治療法が待ち望まれていました。

そうした状況の下、2011年にそれまでの2剤にプロテアーゼ阻害薬のテラプレビルを加えた3剤併用療法が行えるようになり、治療期間が従来の2剤併用療法の半分の24週間に短縮され、かつウィルス排除率が約70%に向上しました。そして、2013年12月より、さらに新しいプロテアーゼ阻害薬であるシメプレビルを用いた3剤併用療法が登場し、そのウィルス排除率は約90%　まで向上しました。また、これまで治療が難しいと考えられてきた高齢の患者さんや、従来のインターフェロンによる2剤併用療法が効きにくいタイプの患者さんにも、有効な治療選択肢ができ、より多くの患者さんが治癒を目指すことができるようになりました。

Ｃ型肝炎治療は、２０年前と比べ格段の進歩があります。Ｃ型肝炎は薬物療法により治る病気となりました。Ｃ型肝炎ウイルスの検査を受けたことのない方は、この機会にぜひ検査を受け、感染が確認された場合はすぐに肝臓専門医を受診されることをお勧めします。治療費に関しては、インターフェロン治療公費助成制度を活用することもできますので、経済的負担も軽減されます。当院の肝疾患連携相談室では、患者様の病気の悩みや治療の不安、日常生活の注意点、医療費助成制度などの相談を、専任の相談員が無料でお受けいたしますので、お気軽にご相談ください。

連絡先　肝疾患連携相談室

場　所：外来棟1階
時　間：9時～16時（土日祝・年末年始を除く）
電　話：053−435−2476
ＦＡＸ：053−435−2475
E-mail：kanen@hama-med.ac.jp



病気
ここが知りたい
Vol.14

「脳梗塞急性期治療」

脳神経外科学　助教　平松 久弥

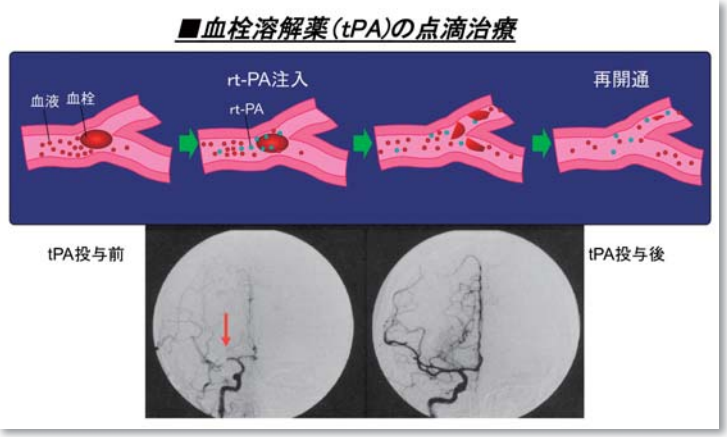
脳卒中とは急に脳の血管が詰まったり破れたりすることによって、脳が障害を受ける病気です。発症すると、障害を受けた脳が司っていた身体機能や言語機能などが失われ、寝たきりになったり、死に至ることもあります。脳卒中は脳梗塞（脳血管が詰まる）、脳出血（脳の細い血管が切れる）、くも膜下出血(脳動脈瘤が破裂)の３つに分類され、約75%を占めるのが脳梗塞です。

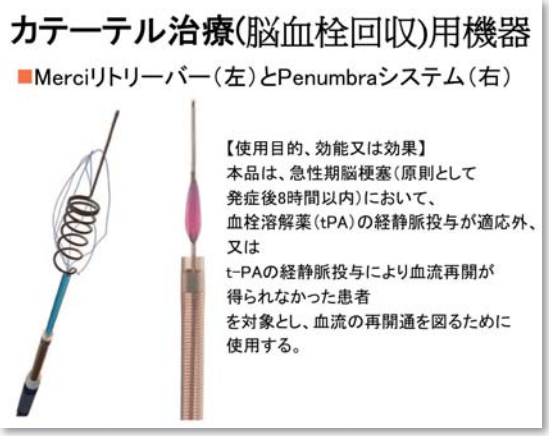
脳の血管の動脈硬化を来した部位に形成された血栓、あるいは心臓で出来た血栓により、脳血管が詰まり脳が壊死するものを脳梗塞といいます。脳細胞は壊死すると再生されません。その結果、片麻痺や言語障害、認知障害、寝たきりなどの後遺症を残します。脳細胞が壊死するかどうかは発症からの時間と脳虚血(脳の血液が不足する)の程度によって決まります。脳細胞が壊死する前に救い出すあるいは、壊死する細胞を少なくするのが脳梗塞急性期治療となります。

具体的には脳細胞が壊死する前に閉塞した血管の血栓をできる限り早く溶かして血液の流れを取り戻す(再開通といいます)ことが重要です。血管が閉塞してからの時間が経過すればするほど脳細胞は壊死に陥ります。タイムリミットは３時間以内に再開通が得られることが望まれます。

血栓を溶かす効果的な点滴治療薬(血栓溶解薬)（tPA）がわが国では平成17年10月から使えるようになりました。しかし、ごく一部の患者さん（全脳梗塞患者の2～3%）しか、この有効な新しい治療を受けていないのが現状です。この治療は発症3～4.5時間以内に開始しなければなりません。来院後、診察・採血・画像検査後に適応を判断し(30-60分経過)治療開始になります。つまり発症２時間以内にt-PA治療を直ちに実施できる医療機関に到着する必要がありますが、間に合う患者さんが少ないのです。

脳卒中(脳梗塞)が疑われる症状として、急に顔面・手足の半身に力が入りにくい、感覚がおかしい、言葉が出にくい／呂律が回らない等の症状があります。症状出現したら、周囲の人に助けを求めること、周囲の人が機敏に対応しなくてはなりません。「動かさずに、安静にして様子をみる」というのは間違いです。一刻も早く専門医療機関の受診が必要です。直ちに１１９番に電話し、救急車を呼ぶこと。重症の場合はもちろん、軽症と思われる時も救急車を利用してください。これは一刻も早く搬送するためであり、また途中で容体が急変することもあるからです。また太い血管の血栓が再開通しない場合にはカテーテル治療(血栓回収)を行うこともあります。





フェーズ1 災害拠点病院とDMATの役割

前回は「フェーズ0からの災害医療」と題し、大災害発生直後の医療救護活動について寄稿させて頂きました。今回はそれに引き続く、「フェーズ1（発災から48時間頃まで）」についての話題です。この時相では、病院の災害対策本部や各地救護所が立ち上がりますが、圧倒的な多数傷病者の発生により医療の需要と供給の不均衡（需要>>>供給）が生じ、特に地域の病院は大混乱に陥ることが予想されます。ここで登場するのが「災害拠点病院」と「DMAT（Disaster Medical Assistance Team）」です。

まず「災害拠点病院」についてです。大災害発生時にその地域の医療における中心的立場となる医療機関のことであり、24時間365日救急診療に対応できること、ライフラインや食料、医薬品等が一定以上備蓄されていることなどの要件を満たす病院が指定されています。浜松市内では、浜松医科大学病院、浜松医療センター、聖隷三方原病院、浜松赤十字病院の4施設がこれに当たります。後述する全国のDMATはこの災害拠点病院を目指してやってきます。

そして「DMAT」についてです。DMATは災害急性期に活動できる機動性を持った、専門的なトレーニングを受けた医療チームを言います。医師、看護師、業務調整員（事務職員、コメディカル等）で構成され、1チーム4～5人で活動します。当院にも私を含め10名のDMAT隊員が厚生労働省および静岡県に登録されています。DMATは大地震や列車事故などの大規模災害時に被災地に駆けつけ、一人でも多くの命を助けるために活動します。そのためには実際に傷病者に施すトリアージや治療処置だけでなく、明確な指揮命令系統の確立、安全確保、被災地でも使用可能な情報伝達手段（衛星携帯電話、トランシーバーなど）、被災状況の評価と医療計画の立案など、被災地の医療をトータルマネージメントするための能力についてもトレーニングされています。

県内に多くの関連施設を持つ浜松医科大学病院は、南海トラフ大地震が予想される静岡県の災害拠点病院の中でも中心的な役割を担うことを期待されています。災害拠点病院として大災害への備えを進めるとともに、私どもDMAT隊員としても自己研鑽のための各種訓練、院内外での災害教育、多数のDMATを受け入れる際の体制整備等、万が一への備えに日々励んでいます。

救急災害医学講座　助教　高橋 善明

（写真1）2012.9.2　静岡県総合防災訓練（磐田市立総合病院にて）

（写真2）2013.11.2　中部ブロックDMAT実動訓練（浜松医科大学病院にて）

世界水準のお墨付き! 静岡県で初めて臨床検査室の品質認定取得!!

患者さんの血液・尿などの検体検査、心電図やエコーなどの生体検査は、臨床検査室で行われています。しかし、単に数値が出ればよいのでしょうか。間違った結果は間違った診断や治療を引き起こす危険性があります。正しく診断し治療に結びつけるためには、正確な検査結果が必須です。そこで当院検査部では『患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。さらに、大学病院として高度な医療を追究しつつ優れた医療人を養成する』を理念とし、臨床検査の業務・教育・研究を行ってきました。ご存じのように昨今の医療の発展は目覚ましく、臨床検査を行う機器試薬も統合するシステムも大きく進歩しました。しかし、それを使いこなし高い品質を保ち続けるためには、測定・判断する検査者の力量や運営する管理者の能力、危機管理とPDCAサイクルによるたゆまぬ改善の努力などが必須です。これらが適正に運用されているか、他者からの客観的な評価を受けてお墨付きをもらうことが望まれます。そのお墨付きが、国際標準化機構(International Organization for Standardization: ISO）によって臨床検査室に特化した国際規格として設定されたISO 15189:2007「臨床検査室-品質と適合能力に対する特定要求事項」です。

ISO 15189の序文に「臨床検査室のサービスは、患者診療にとって不可欠であり、すべての患者とその責任を持つ臨床医のニーズを満たすために利用できなければならない。これらのサービスには、検査依頼のアレンジ、患者の準備、患者の識別、一次サンプルの採取、搬送、保存、一次サンプルの処理と検査、その後に続く妥当性の確認、結果の解釈、報告、及びアドバイスサービス、並びに検査業務の安全性と倫理への配慮が含まれる」とあります。当検査部では2014年3月にこのISO 15189認定を取得したことにより、正確な検査結果報告、品質文書・設備の完備・医療安全および感染対策の徹底、スタッフと検査室に来られる全ての方への安全保証、高水準な検査部スタッフの技術・知識、良好で適切な管理能力・品質マネジメントシステム・医療アドバイス・患者サービスなどが証明されました。国際的にも通用する実力を証明できたことになります。静岡県では初めての認定検査室になりますので、今後は、日常診療に活かすことはもちろん、近隣の検査室のレベルアップにも寄与したいと願っております。

末尾ながら、ISO 15189の認定を取得するために、病院や大学の各部署のご協力を頂戴致しました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

検査部　臨床検査技師長　濵田 悦子

（写真1）日本適合性認定協会（JAB）認定証

現地審査風景

（写真2）現地技術審査

（写真3）現地実技試験

静岡県原子力防災訓練を実施

平成２６年２月１３日（木）に南海トラフを震源とする巨大地震が発生、県内を震度６弱～７の揺れと大津波が来襲し、浜岡原子力発電所の全交流電源が喪失したことを想定した防災訓練が国・県・市・医療機関との連携により実施されました。

緊急事態宣言、避難指示が発出され、浜岡原子力発電所から5ｋｍ圏内にある病院の入院患者を受け入れることになった当院では、御前崎市消防本部の救急車及び自衛隊救急車により運び込まれた模擬患者（重症）を、救急外来風除室において速やかに放射線測定器を用いたサーベイ検査と全身状態のチェックを行いました。

体表面汚染がないとの判定により風除室から診察室へと移動し訓練が終了となりました。

今後、さらなる連携体制を整えるとともに、新たな問題点への検討、必要物品の確保等改善を図り、二次被ばく医療機関としての役割を担います。

救急災害医学講座：教授　吉野篤人／医事課

汚染防護用具の着装

御前崎市救急車到着

自衛隊救急車到着

放射線サーベイ

最後に
スタッフも測定

平成26年4月1日から外来診療費をクレジットカードでお支払いいただけるようになりました

平成２６年４月１日から今までの入院診療費に加えて、外来診療費支払いについて、クレジットカード取扱いを開始しました。どうぞご利用ください。

これからも支払方法の充実に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

なお、恐れ入りますが自動支払機でのご利用が原則となるため、暗証番号の入力が必要となります。また、暗証番号を事前にご確認のうえご利用いただきますようご協力をお願いします。

医事課

お取扱いブランド

MUFG CARD　DC　UFJ Card　NICOS　VISA　MasterCard　JCB　Diners Club INTERNATIONAL　AMERICAN EXPRESS　DISCOVER

ご利用方法

- **自動支払機でお支払の方**
  ⇒支払機に診察券を挿入後、画面上で「カード」ボタンを選択してからご利用ください。
- **窓口でお支払の方**
  ⇒料金支払窓口の職員にお申し付けください。

消費税引き上げに伴う本院の対応

平成２６年４月１日より消費税が８％に引き上げられることに伴い、本院が設定している自費料金について消費税引き上げ分を転嫁させていただくこととしました。（一部料金を除く。）

なお、改定された料金の詳細については、２階総合受付にある掲示板をご覧ください。　医事課

当院は日本医療機能評価機構認定病院です。

病院広報　はんだ山の風　第15号　平成26年4月発行
発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会　〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表)　FAX.053(435)2153(医事課)　Hpアドレス／http://www.hama-med.ac.jp/

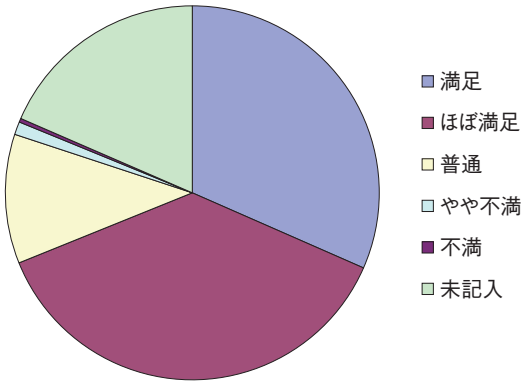
平成25年度外来患者アンケート集計結果

当病院では、安心して診察をお受けいただくため、下記のとおりご来院の患者さんを対象としたアンケートを実施いたしました。いただきました率直なご意見は、今後の患者サービスに反映できるよう努めてまいります。

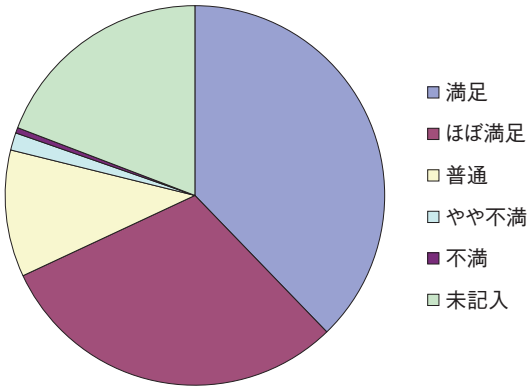
【実施期間】　平成26年2月3日（月）～2月7日（金）
【回答数・回収率等】　配布数 2,387件　　回答数 2,147件　　回収率 89.9%

当病院全体の満足度をおたずねします。

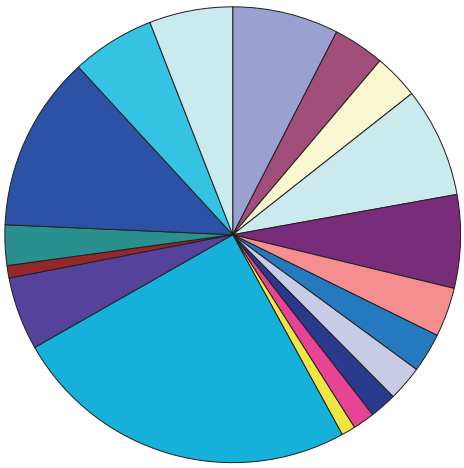
医療（治療、処置、検査等）に対しての評価



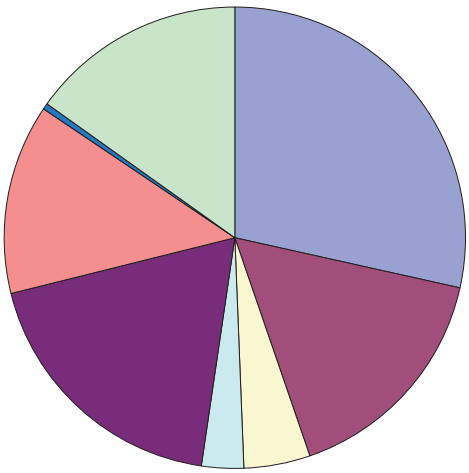
あなたは「この病院に来てよかった」と思いますか



当病院について「特に改善が必要である」と思われることは何ですか。



当病院に期待するのは、どのようなことですか。



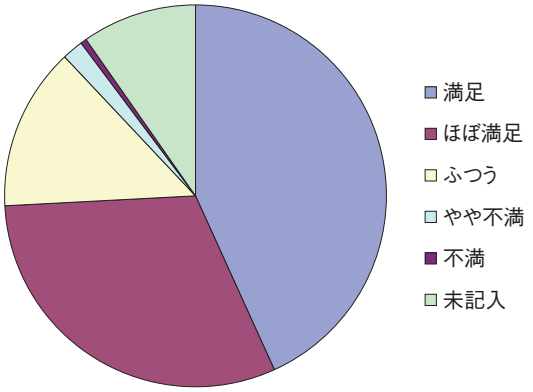
平成25年度入院患者アンケート集計結果

当病院では、安心して治療をお受けいただくため、下記のとおりご入院の患者さんを対象としたアンケートを実施いたしました。いただきました率直なご意見は、今後の患者サービスに反映できるよう努めてまいります。

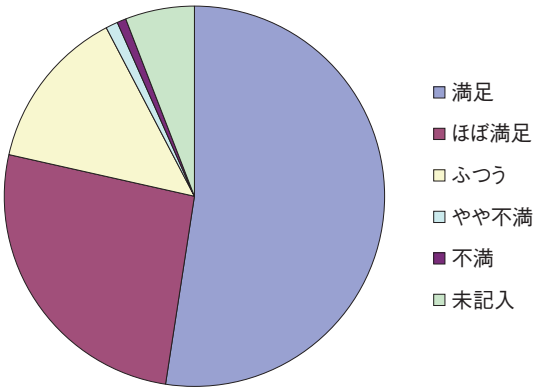
【実施期間】　平成26年1月30日（木）～2月6日（木）
【回答数・回収率等】　配布数 545件　　回答数 391件　　回収率 71.7%

当病院全体の満足度をおたずねします。

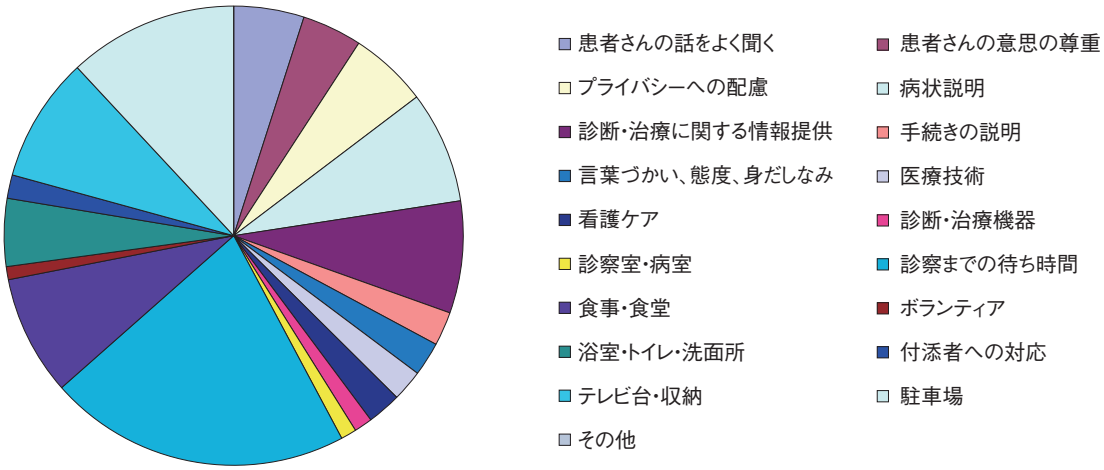
医療（治療、処置、検査等）に対しての評価



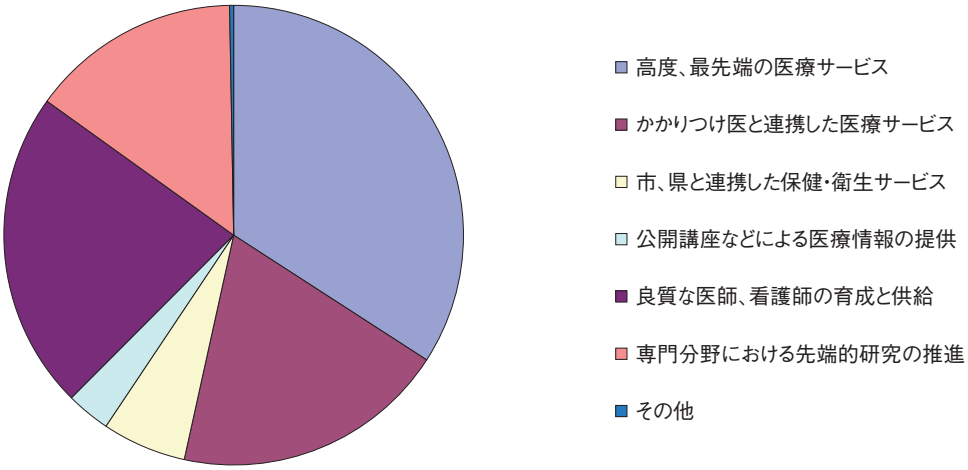
あなたは「この病院に来てよかった」と思いますか



当病院について「特に改善が必要である」と思われることは何ですか。



当病院に期待するのは、どのようなことですか。



外来診療日一覧

H26.4.1現在

受付時間　午前　8時30分～11時　一般外来・専門外来
　　午後　0時30分～　2時　専門外来

休 診 日　土曜日および日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

○：午前
△：午後
◎：午前・午後
◆：予約のみ

診療科名		診療日 初診 月	初診 火	初診 水	初診 木	初診 金	再診 月	再診 火	再診 水	再診 木	再診 金	備考
内科　受付電話　435－2632												
一般内科	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
第一内科	消化器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	腎臓内科	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	
	神経内科	◆	◆	◆			◆	◆	◆		◆	
第二内科	肝臓内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	呼吸器内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	
	内分泌・代謝内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	
第三内科	血液内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	免疫・リウマチ内科	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
臨床薬理内科		◆			◆	◆	◆			◆	◆	要問い合わせ
循環器内科		◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
ペースメーカ外来												予約のみ、要問い合わせ
ピロリ菌外来		◆					◆					午後のみ
精神科神経科　受付電話　435－2635　※他医療機関で治療している場合は「紹介状」が必要												
	初診・再診	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
専門外来	児童思春期		○					○				
	摂食障害外来								△			
	摂食障害デイケア							◎		◎	◎	
小児科　受付電話　435－2638												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆	
専門外来	内分泌・遺伝		◆					◆				
	内分泌		◆			◆		◆			◆	
	心臓				◆	◆				◆	◆	
	血液									◆	◆	初診は随時電話で
	免疫・アレルギー	◆			◆	◆	◆			◆	◆	
	神経		◆		◆			◆		◆		
	腎臓				◆					◆		第2、4週のみ
	新生児フォローアップ							◆			◆	
	乳児検診	◆					◆					
	在宅医療								◆			
	CCS外来									◆		第4週のみ
小児外科　受付電話　435－2638												
	初診・再診				◆					◆		
外科　受付電話　435－2641												
第一外科	呼吸器外科			◆					◆		◆	
	一般外科（内視鏡）	○		○		○	○		○		○	
	乳腺外科	◆	◆			◆	◆	◆			◆	
心臓血管外科		○		○		○	○		○		◆	要紹介状
外科　受付電話　435－2642												
第二外科	上部消化管外科			◆					◆			
	下部消化管外科	◆					◆					
	肝・胆・膵外科					◆					◆	
	血管外科		◆					◆				
	緩和ケア外来		◆			◆		◆			◆	
脳神経外科　受付電話　435－2644												
	初診・再診	◆	◆		◆	◆		◆		◆	◆	
整形外科　受付電話　435－2647												
	初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
専門外来	教授外来（脊椎）	◆			◆		◆			◆		
	骨粗鬆症				◆					◆		
	リウマチ			◆	◆				◆	◆		
	手・末梢神経			◆					◆			
	脊椎	◆					◆					
	腫瘍			◆					◆			
	股関節					◆					◆	
	肩関節					◆					◆	
	膝関節					◆					◆	
	小児整形	◆					◆					

診療科名		診療日 初診 月	初診 火	初診 水	初診 木	初診 金	再診 月	再診 火	再診 水	再診 木	再診 金	備考
皮　膚　科　　受付電話　435－2650												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	乾癬外来		◆		◆			◆		◆		
	アトピー外来	◆		◆			◆		◆			
	光線過敏症外来		◆					◆				
	脱毛症外来	◆					◆					
	化学療法スキンケア外来		◆		◆			◆		◆		
泌　尿　器　科　　受付電話　435－2653												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆		
専門外来	腎移植外来		◆	◆	◆			◆	◆	◆		第2週のみ 第1、3、4、5週のみ
	排尿障害外来		◆		◆			◆		◆		
	不妊症外来	◆				◆	◆				◆	第1、3、4、5週のみ
眼　　科　　受付電話　435－2656												
	初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	
専門外来	網膜変性外来		◆					◆				
	斜視・弱視外来								◆			
	ロービジョン										◆	
	角膜外来				◆					◆		第1週のみ
耳鼻咽喉科　　受付電話　435－2659												
	初診・再診	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門外来	腫瘍外来	○					○					
	耳外来				○					○		
	めまい外来			◆								
	耳鳴外来		○					○				
	難聴外来・人工内耳外来		○					○				
	睡眠時無呼吸・いびき外来					○					○	
	顔面神経外来					○					○	
	鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科　　受付電話　435－2662　※女性医師ご希望の方はお申し出ください												
	産　科　初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	婦人科　初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	婦人科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	産科外来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	腹腔鏡外来		◆					◆				
	光療法外来			◆					◆			
	母親学級							◆				
	女性漢方外来		◆					◆				第1、2、4週のみ
ＡＲＴ室	受付電話　435－2664											
	不妊外来						◆	◆		◆	◆	
放　射　線　科　　受付電話　435－2665												
	放射線治療外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	アンギオ外来		◆		◆			◆		◆		
麻酔科蘇生科　　受付電話　435－2668												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
リハビリテーション科　受付電話　435－2747												
	初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
形　成　外　科　　受付電話　435－2496												
	初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○		
								◆				
歯科口腔外科　　受付電話　435－2673												
	初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来	唇顎口蓋裂外来			○					○			専門外来の診察日は不定期のため、歯科口腔外科外来受付電話に問い合わせください
	インプラント外来			○					○			
	顎補綴			○					○			
	矯正歯科					○					○	

※市外からお電話の場合は、電話番号の前に市外局番（０５３）を付けてください。